

こんにちは！ 地域おこし協力隊 です

※地域おこし協力隊とは、人口減少等の課題を抱える地方の自治体が、都市部の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図ることを目的として設立された制度です。

臼杵市では、移住定住支援や中心市街地の活性化、有機農業の推進など、様々な分野で協力隊の皆さんが活躍しています！

地域おこし協力隊に新たな仲間が加わりましたのでご紹介いたします！

一般隊員として、地域振興協議会を始めとした地域団体等の活動支援を担当する田中理恵(たなか りえ)さん、有機農業隊員として、ほんまもん農産物の栽培、PR、販路拡大等を担当する三重野 勇太(みえの ゆうた)さんと阿武 直志(あんの なおゆき)さんの3名が採用されました。

市民の皆さんと一緒に臼杵を盛り上げるために元気に活動していますので、見かけた際にはぜひ気軽に声をかけてください！

田中 理恵さん(地域担当)

初めまして。6月1日に地域おこし協力隊の地域担当として着任致しました、田中理恵と申します。

兵庫県の宝塚市出身で、大学時代を初の九州『大分』にて過ごしました。大分は、大好きな仲間と過ごした楽しい思い出がいっぱい詰まった場所です♪いつかまた住めたら…と、そんな思いで卒業後は地元関西へと戻っておりましたが、昨年度末に結婚を機に大分へまたやって参りました。空気も、野菜もおいしい臼杵市に魅了され応募したら…このような素敵なお縁を頂き、とても嬉しいです。

笑うこと、食べること、動くことが大好きで、今までは関西を拠点にインストラクターとして、「顔ヨガ」や「ピラティス」をスポーツジムや、スタジオ、公民館、カフェ等でレッスンしておりました。

あの全身を動かした後の爽快感…そして、そこを満たす美味しい野菜、ごはん、パン、スイーツ、、等々…この組み合わせはたまりませんよね！

適度な運動と食事は、私にとっても、『健康』にとっても、欠かせないものですよね。臼杵市のみなさんとそんな思いを分かち合えると嬉しいです。

好き嫌いは全くありませんので、臼杵の美味しいもの情報をぜひ教えてください♪

今は近くの青果店にて、新鮮でおいしい野菜をたくさん買い、料理をすることや、野菜情報を聞くことを楽しんでいます！

お話しすることも大好きですので、どうぞお気軽にお声かけください。

車の運転は不慣れですが、今ボチボチと頑張っています…！

地域担当として、まず地域振興協議会を訪問し、各地域の状況等をお伺いし、各団体での取り組みや困りごとへの理解を深めて参ります。

県内外へも、地域の取り組みやコミュニティビジネスについて活かせることがあれば、視察等へも積極的に参加し、報告・反映をしていきます。その中で協議会間のコミュニティの場も増やしていきたいです。



そして私自身も振興協議会の方々の様な地域に密着したイベントの企画が出来る様に、また、振興協議会の方と共に企画ができるように努めて参ります。

そこで生まれたコミュニティの定着のためにも地域内で、より様々な世代を対象に(例えば…産後ママ、働き盛りのお父さんお母さん、高齢者の方々など)「ピラティス」や「顔ヨガ」教室の開催をし、市民のみなさんの健康サポートや、地域内での共助の取り組みに貢献できればと考えております。

いろいろな楽しい考えが頭をぐるぐる巡りますが、まずは、各地域を知るために、市内を駆け巡りたいと思います！

▼顔ヨガのレッスン中です！顔にも筋肉がこんなにたくさんあるんですよ。



三重野 勇太さん(有機農業)

皆さん、初めまして。令和3年1月より、地域おこし協力隊(有機農業隊員)として着任した三重野勇太と申します。神奈川県出身の37歳です。臼杵市に移住する前には、常在菌の活用方法についての研究開発や、輸入青果物の品質管理などを行っていました。

将来的には、自然あふれる土地でゆっくりと農業をしながら生活をしたいと考えておりました。結婚を期に大分県への移住を決意しました。

大分県内で有機農業に対する環境が良い場所と、移住場所を検討していた際に地域おこし協力隊の募集を見つけました。

また、臼杵市には妻の父方の実家があり、何か良い縁がここにはある！と確信し移住を決意しました。

移住するにあたって、ペットと同居可能な住居の手配が一番苦労しましたが、市役所の方々に相談すると、非常に丁寧かつ迅速な対応を頂き、移住後の生活について抱えていた不安も和らぎ、その対応の速さに驚き、臼杵市での就農に大きな励みとなりました。

新しい土地でゼロから農業を始めることには、どの自治体でも共通して、人間関係も含む就農環境が一番の問題だと思います。移住して半年ではありますが、臼杵市については移住者が新規就農するために必要な条件が揃っており、地域社会にも馴染みやすい地盤もあるので、移住場所として大正解だったと感じています。

藤島農園にて九州地方での農業を学びながら、ほんまもん野菜の出荷業務やオーナー農園などの作業補助に従事しております。最近では、自分の畑にトマトや枝豆などの夏野菜を代表する作物の栽培や、地域おこし協力隊OBの林氏が保有する畑の開墾を行っています。近隣の方に「草刈りしている人初めてみた」など声をかけて頂くこともあり、長く耕作放棄された畑を再生し、活用することも地域おこしの一つの醍醐味だなと、新たな使命感を感じつつ、日々頑張っています。

将来的には、農業を一つの基軸として、新規就農を目指す移住者をサポートできるような新しい仕組み作りや農業を創出し、臼杵市に還元できるよう頑張りたいと思います。



阿武 直志さん(有機農業)

令和3年7月より地域おこし協力隊有機農業隊員として着任しました阿武直志です。

大分市出身の25才です。以前は、会社員として6年間勤めていました。

農業にはもともと興味があり、知り合いを通じて畑を借り、農業を始めました。

1年間実際に農業を行い、有機で野菜を作ることの難しさを経験する中、臼杵市が有機農業に力を入れていることを知り、興味を持ちました。

協力隊卒業生の畑に手伝いに行ったり、石仏公園で開催されているファーマーズマーケット「ひやくすた」を見に行ったりして、臼杵で有機農業をやりたいと思い応募を決意しました。

農業は初心者ですが、若い力を活かして、3年間頑張ります！



先輩隊員と同じく藤島農園にて農業を学びながら、ほんまもん野菜の出荷業務やオーナー農園などの作業補助をしています。生産規模の大きな農家になるために、これからの3年間しっかりと有機農業の勉強をして、将来は年収1,000万円越えの農家を目指したいです。